

科目ナンバリング：DEC-2-346-11/DIB-2-431-11/DLP-2-349-11

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

政経学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「専門性」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

社会学の入門編として社会学の基本概念について学んでいく。将来ツールとして利用できるために「社会学とはどういう学問なのか」を意識しながら理解できることを目的としています。社会生活を送るうえで重要な制度について理解していきます。

■授業計画

1 オリエンテーション

この授業の進め方についての説明。社会学とはどういうものなのかについての概略について述べ、社会科学の1分野として社会学の特徴を明らかにします。

2 社会的地位と役割

社会を分析するための基本概念である地位と役割という二つの用語について説明します。日常用語とは異なる意味に注意し、なぜそうした専門用語が必要となるのかを理解しよう。

3 第一次集団と第二次集団

社会にはさまざまな人の集まり（＝集団）があります。その中でももっとも基本的な集団である第一次集団の特徴と重要性について説明します。

4 地域社会

私たちにとってもっとも身近な社会の広がり地域社会です。地域社会の構成要素について確認し、現代日本の現状について学びます。

5 社会と文化

文化は社会学の一大テーマです。社会学における文化の定義、世界に多様な文化が存在する理由について理解します。文化を文化として可能にするもの、それが文化的価値です。この概念をもとに演繹的に文化が規定され理解可能であることを学びましょう。

6 社会階層

近年、「格差社会」が進行しているといわれます。社会的な資源の不平等な分布を指標化したものが社会階層です。現代日本の階層状況について理解を深めます。

7 家族と社会

家族は時代とともに変化してきました。現代の家族はどんな特徴をもっているのでしょうか。また、どんな課題に直面しているのでしょうか。データをもとに考えていきます。

8 社会的逸脱

どんな社会にも規範（＝ルール）があり、規範に反する行為が逸脱と呼ばれます。現代の逸脱の発生状況について、犯罪統計をみながら考えていきます。あわせて、統計をみる際の注意点にも触れます。

9 学校と教育

現代において学校と教育制度ほど批判にさらされているものはありません。学校教育の利点を理解し、直面する問題にどのように対処すればいいのかを考えてみましょう。

10 産業・組織・労働

現代社会の特徴のひとつは、「職業（ビジネス）」が生活の中心となっている点にあります。ビジネス社会の主役である企業が、働く人をどのように管理しようとしてきたのか。その足跡について振り返ります。

11 宗教と社会

日本人は「無宗教」だといわれます。果たして本当でしょうか。日本人もまた信仰心豊かな国民だとすれば、日本の宗教はどんな特徴を持つのでしょうか。データから明らかにしていきます。

12 福祉と社会

その社会に暮らすすべての人々が、最低限の物質的、文化的に満たされた生活を送るために社会が支えること。それが社会福祉です。社会福祉の現状と問題点について学んでいきます。

13 私たちと近代

近代とは何か。これまで多くの社会学者が挑んできた問いについて考えます。近代社会とは複数の社会変化が同時進行することによって初めて実現できた社会なのだとすることを理解します。

14 コミュニケーションと社会

インターネットの普及はコミュニケーションを劇的に変えました。一方でネット社会特有の問題点も指摘されています。ネット社会の現状を理解し、より良いコミュニケーターとなるための条件を考えましょう。

15 日本人論

日本人は海外から自分たちがどのようにみられているのかにとっても興味をもっている国民です。代表的な日本人論に描かれた日本人像について説明します。

■授業の方法

毎回、スライドショーを用いながら社会学のトピックを一つずつ取り上げる。まず、中心的な概念を説明し、続いて具体的な例を出しながら、私たちの生活にとって、どのような意味で重要なのかを理解していく。各回の終了時にはコメントを提出してもらう。

■予習・復習

教科書を指定するので必ず入手すること。学期の始めに講義予定表を配布するので、授業に先立ち、教科書の該当箇所にも目を通しておくこと。毎回の提出物に教員がコメントを書いて返却するので、コメントをもとに、前回の授業を振り返ってもらいたい。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

毎回提出してもらうコメント用紙は採点し、教員のコメントを付けて翌週に返却しますので、コメントを参考により理解を深めてください。コメント用紙の評定点を合計し50%、期末試験の得点を50%の割合で評価します。なお、期末試験のフィードバックは、Blackboardシステムで行います。

■教科書・参考書

教科書：松田健『テキスト現代社会学 第3版』、ミネルヴェア書房、2016年。

■関連する科目

広く社会学に関連する科目一般。